

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ数
視能訓練士	1名
歯科衛生士	3名

＜視能訓練士＞

—概要—

救命救急センターに搬送された頭部外傷などによる眼窩骨折や脳疾患の患者の検査、全身疾患に合併する眼疾患、入院中の眼症状や眼疾患のある患者の検査などを行っている。

また、健診や人間ドックをはじめ、航空身体検査やVDT検査(情報機器作業に関する健康診断)などの特殊な眼科健診も行っている。

検査項目は、視力検査、屈折検査、眼圧検査、視野検査、眼位・眼球運動検査、視神経検査、眼球突出度検査、両眼視機能検査、調節検査、色覚検査、網膜電図検査、角膜形状解析検査、角膜内皮検査、眼底写真撮影検査、眼底3次元画像解析検査などである。

—実績—

2022年度 検査件数

検査項目	件数
視力検査	726
屈折検査	858
眼圧検査	478
前眼部検査	20
色覚検査	45
斜視検査	308
視野検査	207
眼底検査	1,201

—今年度の成果と反省点—

6月に眼科常勤医着任になり、新体制となった。それにより、受診患者が大幅に増加した。一方で、待ち時間が増えていることが反省点である。医師、看護師と協力して、診療の待ち時間を短縮し、患者サービスにつなげる。

—来年度への抱負—

円滑に検査の受け入れができる体制を作り、必要な検査の組み立てを行い、患者に負担がかからないように、効率よく検査を行う。

また検査の精度を高め、少しでも医師の診断の助けになるように、視能訓練士として眼科診療における役割を果たす。

＜歯科衛生士＞

—概要—

泉州地域の中核病院である、りんくう総合医療センターで顎・口腔領域の外科を専門とする口腔外科に従事。

専門的な知識と経験が必要な口腔疾患管理を口腔外科医とともにやっている。

口腔外科歯科医師の指示のもと

- (1) 一般歯科医院での治療が困難な患者の診察や外来小手術の診療補助
- (2) 入院患者の歯科治療(主に応急処置)の診療補助、専門的口腔ケア
- (3) 全身麻酔手術や化学療法、放射線療法を受けられる患者の口腔衛生指導、専門的口腔ケア
- (4) 周産期センターにおける両親学級での口腔衛生指導
- (5) 地域の医療機関との連携体制において初診当日外来小手術の予約
- (6) 事務処理など医療秘書業務も兼任している

専門的口腔ケアは歯科疾患の予防や治療のみならず、周術期の術後感染や誤嚥性肺炎の予防、口腔粘膜炎の予防や軽減効果があげられる。それにより術後在院日数、術後合併症の予防、医療費削減などに寄与できる。

いずれにおいても多種多様な全身疾患や不安など、心の問題を抱えている患者に配慮しながら、より良い医療を提供するよう努めている。

—今年度の成果と反省点—

当センターにおいて、周術期口腔機能管理の必要性が益々必要とされる中、今年度の歯科衛生士の増員と診療室拡充がまだ滞り、実績件数が増加できずにいる。

今年度の消化器外科における周術期口腔ケアの件数は57件であった。

今後は他科からの依頼件数増加も見込まれ、更に術後感染や術後肺炎予防により入院稼働率もあげられるため、更なる歯科衛生士の体制作りと診療室の拡充が急がれる。

コロナ禍で暫く滞っていた両親学級での口腔衛生指導も再開に向けて準備を進めていきたい。

—来年度への抱負—

今後も他科からの周術期口腔機能管理の依頼件数増加が見込まれるため、実績件数増加のためにも診療室の拡充と歯科衛生士の体制強化を目指したい

「チーム医療」の一員として、がんの患者さんを口腔ケアで支援していきたい。